

肉体の悪魔 (1947)

LE DIABLE AU CORPS
DEVIL IN THE FLESH [米]

メディア 映画

ジャンル ロマン스 ドラマ

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 116分

初公開日 1952/11/08

公開情報 東和

【解説】

僅か20歳でこの世を去った早熟の天才作家ラディゲ17歳の頃の処女長篇（14歳の時に習作は書かれていたという！）の映画化で、主演は貴公子フィリップ。既にこの時25歳だった彼だが、演技力で年上の人妻との恋に溺れるハイティーンを見事に表現してみせた。

18年11月11日。大戦の終結でパリ中に教会の鐘が響き渡り、人々の喜び騒ぐうち、一人哀しみに沈む少年フランソワがとあるアパートマンから出てきた葬列を遠まきに忍んでいた。そして、その建物の中の部屋に入って、鏡を見入っての回想が始まる。戦時中、彼の学校は病院となって、そこへ篤志看護婦としてやって来たマルト（プレール）は、負傷兵の傷を見て失神。これを介抱したのがフランソワだった。マルトには出征中の婚約者ラコム軍曹がいたが、そんなことお構いなしに若い情熱をぶつけてくるフランソワ。が、マルトの母はその関係に勘づき、フランソワの父もマルトの手紙でそれを知り、夏休みは彼を田舎で過ごさせることにした。新学期。勇んで町に戻った彼は既にラコム夫人であるマルトと再会。が、それで萎える恋心ではない。夜の雨についてマルトの部屋に駆け込むフランソワ。濡れねずみのいじらしさに、マルトが少年の体を拭くうち、いつしかそれは熱い抱擁へと変わる（この上なくロマンティックなラブ・シーンだ）。彼女は人の妻であることを忘れた。少年の子を宿していたマルトに夫にすべてを打ち明けようと決意を伝えるフランソワ。が、父の懐柔でその機会を逃した彼に運命は苛酷だった。生まれくる子はラコムのものにすべしとの親たちの考え。そして、突然に産気づく恋人の無事をアパートマンの外からしか祈れぬ少年。そこに初めて会う夫が駆けつける（彼は何も知らない）。男の赤ん坊を産み落とすと同時に息絶えるマルト。最後に叫んだ少年の名はそのまま、新生児の名前とされるのだった……。滑らかに語られすぎの感はあるが、フィリップの気品が作品に精気を与え、プレールの落ち着いた美しさも魅力的。

【クレジット】

監督	クロード・オータン＝ララ	Claude Autant-Lara
原作	レイモン・ラディゲ	Raymond Radiguet
脚本	ピエール・ポスト	Pierre Bost
	ジャン・オーランシュ	Jean Aurenche
音楽	ルネ・クロエレック	Rene Cloerec
出演	ジェラルド・フィリップ	Gerard Philipe
	ミシュリーヌ・プレール	Micheline Presle
	ジャン・ヴァラス	Jean Varas
	ジャン・ドビュクール	Jean Debucourt
	ドニーズ・グレイ	Denise Grey
	ガブリエル・フォンタン	Gabrielle Fontan
	シルヴィー	Sylvie

